



最上小国川クリーンフェスティバル in 舟形アユパーク

10月8日(日)に舟形町のアユパークにおいて最上小国川クリーンフェスティバルが開催されました。この日は鮎がたくさん泳ぐ最上小国川と周囲に見える山々の景色が素晴らしいアユパークで、秋空のもと24チーム80名の参加者がスポーツGOMI拾いや最上小国川に関するクイズにチャレンジしました。スポーツGOMI拾いとは、拾ったゴミの量や内容によって競い、今までの社会奉仕活動を「競技」へと変換させた日本発祥の新しいスポーツのことです。その結果、約15kgものゴミを回収することができました。清掃活動の後には、最上小国川流域の味覚としてアユの塩焼きと、山形の秋の風物詩芋煮を参加者全員でおいしくいただきました。



総務課連携支援室 29-1240

鮭川村で知事の「県民活躍トーク」が開催されました

吉村知事が、新たな価値の創造等に取り組むグループ・団体を訪問して、産業の創出・活性化について意見交換を行う「県民活躍トーク」が、初回の開催として、9月30日(土)に食用ほおずきによる地域振興を図る鮭川村(エコパーク)で開催されました。当日は、食用ほおずきの栽培圃場を視察した後に、元木鮭川村長、食用ほおずきの栽培加工に取り組む有限責任事業組合フリーハンド、(株)和壤や、生産者の方と意見交換が行われました。



意見交換では、まさに香のフルーツ・燈玉といえる美味しさと外観は非常に魅力的で貴重な地域資源であることや、生産販売拡大に向けて、栽培技術の向上や高級感が伝わるようなネーミング・デザイン面での工夫の必要性などについて意見が交わされました。また、知事からは、「鮭川村の食用ほおずきはとても美味しく、名産として村のPRにもなる。県としてもサポートしていきたいので、ぜひ有名なものにしてほしい」との発言がありました。



最上総合支庁では、関係課等によるタスクチームを組んで一丸となり、日本一の食用ほおずきの産地化に向けて、鮭川村の食用ほおずきの生産販売促進とブランド化を応援していきます。

農業振興課 29-1314



未来を考える授業～地元で暮らし働くということ～

高校生の地元就職・定着等につなげるため、10月17日（火）に新庄東高等学校で、2年生99名を対象に、地元で就職・起業した若者から最上地域での働き方・暮らし方等の経験談を話していただく特別授業を開催しました。

授業は男女別で、男子生徒には、金山町にUターンし農業を始めた株式会社エヌシップ 代表取締役の長倉 直人氏による講話が開催されました。女子生徒には、地元で働く6人の異業種の女性社員をゲストに、トークセッションを行い、地元就職をした理由やメリットを語っていただきました。



参加生徒は真剣に耳を傾けており、「将来に向けてとても勉強になった。自分から進んで新しいことにチャレンジしていきたい。」「自分の選択の視野を広げることができた」といった前向きな感想が多数寄せられ、未来を考える有意義な時間となりました。

地域産業経済課 29-1309



「最上地域森の感謝祭2017」が開催されました

最上地域の豊かな自然に感謝し、「県民参加の森づくり」を一層推進するため「最上地域森の感謝祭2017」が平成29年10月7日（土）に大蔵村にある「肘折いでゆ館」の周辺で開催されました。

今回の開催テーマは「つなげよう未来へ 緑のバトン」で、「コールささりんどう」による素敵なコーラスで開幕し、森づくりリレー旗伝達、緑化功労者の表彰、記念植樹などが行われました。特に、平成25年にあった肘折地区での地すべり災害の復旧地を会場に、復興緑化としてヤマハンノキを緑の少年団や一般参加者で植樹しました。

当日は天候不順でしたが、参加者の熱気が雲を動かしたような気がしました。

森林整備課 29-1348



「スギの伐採搬出から植栽までの一貫作業システム現地研修会」が開催されました

10月6日（金）に、最上町東法田地内において管内の民有林で初めて一貫作業を実施することから、現地研修会が開催されました。森林組合や素材生産業者、県立農林大学校の学生など約100名が参加し、伐採から植栽までを一連の作業として行う一貫作業システムの説明の後、作業の流れを見学し、少花粉コンテナ苗の植栽を実際に体験しました。

参加者からは、「苗木も軽くすごく簡単に出来た」、「今後やってみたい」等の前向きな感想があり、森林施業の低コスト化と再造林を推進するうえで有意義な研修となりました。

森林整備課 29-1347



山形県の新しいお米「雪若丸」のPRを行いました

10月18日（水）、新庄市の大地会館で開催された第32回みのりの秋感謝祭・最上但馬牛肉賞味会に合わせて、JA新庄市が開催した「雪若丸」の先行販売会に、最上総合支庁から石山支庁長はじめ関係職員が参加して一緒にPRを行いました。



石山支庁長は、「雪若丸は県の試験場で約10年にわたり大切に育てた美味しいお米。しっかりとした粒感と粘りが両立した新食感で来年本格デビューを迎える。お買い求めいただき、長く愛用いただきたい」とあいさつを行うとともに、JA新庄市の山科経営管理委員会会長とともに雪若丸のおにぎりの振る舞いを行うなど、雪若丸のPRを行いました。

農業振興課 29-1314

「～H29みんないっしょ～ 親子でスポーツ！！」を開催しました

10月28日（土）に新庄市体育館で、最上地域みんなで子育て応援団事業「～H29 みんないっしょ～ 親子でスポーツ！！」を開催しました。参加した子ども達と保護者約30名は、親子体操で体を温めた後に、遊びながら楽しく体を動かせる軽スポーツを3種類体験し、最後に親子ヨガで心と体をリフレッシュしました。参加者からは、「子どもと一緒に楽しめた」という声がたくさんありました。体を動かす楽しさを体験しながら、親子が交流し、心も体もリフレッシュできる時間となりました。

子ども家庭支援課 29-1245

↓カードをめくるゲーム



↓ふれあいながらの親子ヨガ



↓最後のごほうびくじ



新庄まつり特別プロジェクト会議(第2回)の開催について(今年度の特別プロジェクトの総括)



今年の「新庄まつり」はユネスコ無形文化遺産に登録されてから初めての開催となり、過去最高の人出で大変な賑わいを見せたところです。

このたくさんのお客様を迎えるにあたり、最上地域全体でその経済効果等の恩恵を享受できるよう、最上地域の行政、商工、観光、温泉旅館、輸送等に関わる関係者が一堂に会し「新庄まつり特別プロジェクト会議」を立ち上げたところです。この会議で、新庄まつりを活用し、最上地域一丸

となって新庄まつりを盛り上げ、地域経済の活性化に向け取り組むことを確認しました。

9月29日（金）に開催した第2回の会議では、今年の新庄まつりに合わせ行われた最上地域の温泉街への宿泊誘導や食や体験などを通じた新たな魅力づくり、誘客PR活動、おもてなしなどの各種取組みについて実績報告が行われ、総括を行いました。初年度ということもあり成果にはばらつきもありましたが、関係者の皆様のご協力もあり、新たな大きな一歩を踏み出すことができたこと大いに評価したところです。

来年度以降も、さらに充実、拡大していけるよう、継続して取り組んでいくことを確認しました。

地域産業経済課 観光振興室 29-1311

新庄まつりを核とした最上地域広域周遊ルート開発検討会(第2回)

「新庄まつり」がユネスコ無形文化遺産に登録されたことを活かし、既に多くの外国人の方が訪れている「最上川舟下り」などと結び付けるとともに、市町村における観光コンテンツの開発、受入態勢整備を支援しながら、最上地域の特色を活かした外国人向けの宿泊、滞在型の周遊ルートを開発するため、「新庄まつりを核とした最上地域広域周遊ルート開発事業」に取り組んでいます。

ルート開発は、「『誰かに自慢したくなる旅』“# amazing mogami (アメイジング最上)”の発信へ」というコンセプトで行われており、10月13日（金）に開催された第2回目のルート開発検討会では、講師に青森県の合同会社西谷たびすけ代表の西谷雷左氏を迎え、「あるもん活かして、地域発信」と題して取組み事例などをお聞きしたあと、「最上地域に今あるものを編集することで魅力的なコンテンツを作る」というテーマでワークショップ形式で検討を行いました。

検討会は全部で5回予定されており、今後、実際に外国人の方の目線で最上地域の観光素材について意見もいただきながら周遊ルートを開発し、パンフレットの作成、HPでの情報発信などを行っていく予定です。

周遊ルート観光素材候補写真については、Instagram（インスタグラム）# amazing mogami で発信中です。是非みなさんもチェックしてください。登稿、コメントをお願いします。

地域産業経済課 観光振興室 29-1311



お知らせ

産地研究室参観デーを開催

【日時】11月3日(金・祝日) 10:00~13:00

(農大祭)と同時開催

【場所】農林大学校 2階第1教室

試験研究の最新の成果や現在取り組んでいる内容を広く紹介する「参観デー」が開催されます。研究成果の紹介の他、ラズベリージャムやイチゴの試食もあります。ぜひおいでください。 産地研究室 22-2201

☆ 最上夜学 第80回記念☆

～ もがみイブニングサロン合同開催 ～

【日時】平成29年11月17日(金) 17:30~

【場所】ニューグランドホテル新庄

【内容】講演 山形大学 小野寺国際事業化研究センター長
発表 (株)ナガオカ(世界が認めるレコード針製造)
最上電機(株)(スピーカー用振動板製造)

地域産業経済課 29-1306

平成29年度第2回最上地域議員協議会

地域の課題や施策について、地元県議会議員4名が審議を行います。傍聴を希望される方は、当日会場でお申し込み下さい。

【日時】

11月29日(水) 15:00~

【場所】

最上総合支庁5階講堂



総務課 29-1211

最上の秋の味覚を味わう「たらふく御膳」好評提供中



最上町の旧満沢小学校を活用した農家レストラン「たらふく工房満沢」は、完全予約制(2日前まで)で、四季折々の食材を使った郷土料理を提供しています。

食欲の秋にうれしい「たらふく秋御膳」(1200円)

あきないますますはんじょうも好評で、まさに「春夏秋冬二升五合」です!

☎080-2818-0060(代表:菅安子)

農業技術普及課 29-1331

最上传承野菜フェア開催!

11月8日(水)~1月8日(月)



内容:管内の飲食店、旅館、産直施設等26店舗で最上传承野菜(最上かぶ、甚五右エ門芋など)の限定メニューの提供を実施。豪華景品が当たるスタンプリーも行います!

農業振興課 29-1316

むし歯サミット in 新庄 2017 の開催のお知らせ

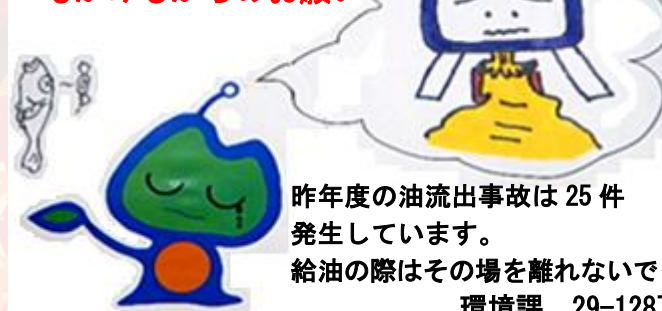
【日時】平成29年11月18日(土) 13:10~15:45

【場所】新庄市民プラザ 大ホール

【内容】(第1部)80歳で歯を20本有している方の表彰式が行われます。

(第2部)健康講演会 NHK「ためしてガッテン!!」や「NHKスペシャル」のディレクター経験を有する丸山優二氏の講演が開催されます。入場は無料。 地域保健福祉課 29-1267

油をもらさないでね!! ～もがみるからのお願い～



昨年度の油流出事故は25件発生しています。

給油の際はその場を離れないで!
環境課 29-1287

積雪・凍結道路を安全に走行するために!!

夏タイヤでの雪道走行は、とても危険なうえ、罰則対象になります。早目に冬タイヤを装着して、冬に備えましょう。冬の坂道や峠等の走行時には、必要に応じてチェーンを装着することで、スタックする可能性が低くなります。県では、国土交通省、山形県警察本部と共同で広報チラシを作成しております。チラシは支庁1Fロビーにありますので、ぜひ、参考にして下さい。



道路計画課 29-1397

上記チラシはH28年度版

発行日:平成29年11月1日

発行元:山形県最上総合支庁総務企画部総務課総合案内窓口

電話:0233-29-1360 FAX:0233-23-2605

HP(<http://www.pref.yamagata.jp/ou/sogoshicho/mogami/314001/eco-polis.html>)でもご覧いただけます。

